

校長室だより

日本福祉大学附属高校 2018年12月1日

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



後期生徒会執行部始動！ さっそく玄関前で熊本地震募金活動

後期生徒会執行部が発足しました。1, 2年生計10名の若い執行部です。校長との懇談会では抱負や決意を語ってくれました。先月、高校では創立60周年式典を行いました。今後の学校の新しい歴史を築いてもらいたいと期待しています。生徒会は毎月14日に募金運動を行っていますが、11/14日には玄関前で熊本地震の募金運動を行いました。「熊本地震が起きた日を忘れないでほしい」（執行部）との思いからです。これからも継続して頑張ってください。



石田さん私学弁論大会に5位入賞

私学弁論大会に出場した石田理佳さん(3年)はボランティア活動について弁論、5位に入賞しました。石田さんは「ボランティアというと被災地に出かけて行って作業をすることが一番役に立つことかもしれないが、高校生にとってできることは限られている」とし、今の自分たちでできる支援を見つけようと、1年次に熊本地震で被災した子どもたちを励ますために、おもちゃや応援メッセージを被災地に届けたとりくみなどを紹介。そして「現地に行くことだけがボランティアではない。高校生の私達も現地に行かなくてもできることはある。地震が起こったことを忘れず、思い続ける心が大切」と訴えました。おめでとう。

和太鼓部県大会優秀賞獲得・・・来年の佐賀総文祭出場へ



11月23日、知立市文化会館において全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門の県大会が開催されました。「十八番」である和太鼓組曲「絆」を力強く演奏しました。出場17校中、松蔭高校とともに優秀校に選ばれ、来年の全国大会(7/30~8/1)佐賀県武雄市)の出場を確定しました。審査員の講評では、「演奏技術の高さはもちろんのこと、曲に対する一人一人の心の構えや気迫が伝わってきた」との評価をいただきました。和太鼓部の健闘をたたえます。保護者の方々も多数応援に駆けつけていただきました。ありがとうございました。

頑張った個人や部活動を表彰しました

11/16日に全校集会を行いました。集会では①諸大会や部活動などで成果を挙げた個人や部活動の表彰、②後期生徒会執行部から後期方針説明などを行いました。①では上記の私学弁論大会の表彰や全尾張野球選手権大会の4位入賞や水泳部の県大会平泳ぎ8位入賞、それらに加えて英検準1級合格者やA I Tサイエンス大賞の努力賞など学術分野で活躍した生徒も表彰しました。またサッカー部が県選手権大会においてベスト8と奮闘したことも私(校長)から紹介し、健闘を称えました。

「対話・問いかけ・発見のある授業」～公開授業研究会を開催しました～

今年のテーマは、「対話・問いかけ・発見のある授業」。1年生を対象に6つの研究授業が行われました。英語では「ユニバーサルデザイン」を題材に、事前準備としてグループに分かれ、各商品について工夫点などを調査し、B紙にまとめました。当日はグループの代表者が英語でプレゼンテーションを行い、優勝チームを生徒の投票で決めました。「社会と情報」では「自画撮り被害の防止策を考える」をテーマに、映像やK J法を利用して各班で話し合い、発表を行いました。他校からの先生方の参加もいただきました。研究授業後、福祉大学の今井先生から同テーマの講演があり、深め合いました。

